

— 交通インフラ総合コンサルタント —

# Ka 株式会社 片平新日本技研

本 社：〒112-0002 東京都文京区小石川2-22-2 和順ビル  
TEL：03-5802-1616  
FAX：03-5802-0046  
URL：https://www.katahira.co.jp  
社員数：283名（2024年10月1日現在）  
創 立：1970年9月  
代表者：代表取締役社長 山崎 幹夫



企業理念と経営方針



グループ会社

## あゆみ

（株）片平新日本技研は2017年に（株）片平エンジニアリングと新日本技研（株）の合併により生まれた会社です。

（株）片平エンジニアリングは1970年9月に、新日本技研（株）は1969年6月にスタートし「道路の片平」と「橋梁の新日本」と呼ばれるまでに至り、合併後は、それぞれの創業精神を融和・継承し、さらなる飛躍を続けていきます。

## 企業理念と経営方針

3つの企業理念と、5つの経営方針を念頭に取り組んでいます。

## 事業内容

『パートナーとして、一人ひとりが積み重ねた新しい高度な技術を発注者へ提供する、自律した交通インフラ総合コンサルタントを目指す』として、業務に取り組んでいます。

○**道路部門**：国土軸を担う高規格道路から遊歩道まで、あらゆる「みち」の計画・設計を行います。

○**交通都市計画部門**：調査・計画から運用・評価まで幅広いコンサルティングを行い、未来の道と都市のあり方を創造します。

○**インフラマネジメント部門**：老朽化が進むインフラ

施設に対し、ICT・IoT技術を駆使して調査、点検、補修設計、維持管理計画などを行います。

○**構造橋梁部門**：「安全で、経済的で、管理しやすく、それでいて美しい」橋梁の計画・設計を行います。

○**事業マネジメント部門**：大規模事業を行う発注者と施工者の間に立ち、設計思想を反映した施工が円滑に進むよう業務に携わります。

## 中期経営計画

2023年10月、新たに中期経営計画（55～57期（2023年10月～2026年9月））を策定し、『Overtake!』をスローガンに「活躍中心世代を引き下げ、持続的な会社経営の実現」を掲げて、日々の業務に取り組んでいます。

## グループ会社

グループ会社である（株）片平エンジニアリング・インターナショナルとともに、人材育成と人材交流を行いつつ、技術協力・連携拡大を進めています。

## 新たな取り組み

従来の5部門のほか、イノベーション・ラボラトリや事業創造部を立ち上げ、マーケット拡大にも積極的に取り組んでいます。

### ～ イノベーション・ラボラトリ ～

CIMの業務活用「Construction Xross (C-Xross)」



3D技術作成事例



BIM/CIM説明会



おやこ参観日



社員旅行（運動会の様子）



社員旅行（運動会の様子）



クラブ活動

への出展、3Dプリンター活用、RPA の選定・活用、システム機器・ソフトウェアの導入など、技術関連の支援に取り組んでいます。

### ～ 事業創造部 ～

2022年12月に事業創造部を立ち上げ、マーケティング・企業ブランディング、公民連携事業参画など、事業領域の拡大に向けた投資を行っています。

### ～ 農園事業 ～

「にじのかけはしファーム～ベジラボ～」を運営し、社会貢献の一環として障がい者雇用を行っています。収穫野菜は、子ども食堂への寄付、社員への配布を行い、また、社員による収穫の協力など、様々な交流も行っています。

## トピックス

### ～ BIM/CIM 社内資格制度 ～

社員の3D技術への意識を向上させることを目的として、2024年度にBIM/CIM社内資格認定制度を新設し、社内資格認定試験を踏まえ7名の認定を行いました。

### ～ 人材育成・人脈形成・技術力向上 ～

人材育成として、（株）ネクスコ東日本エンジニアリング、（株）ネクスコ・エンジニアリング新潟、中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋（株）、（一財）日本みち研究所および（一財）道路新産業開発機構へ

## 【2024年度業務表彰】

2024年度は、9件の業務表彰および感謝状を頂きました。

| 表彰種別 | 件名(発注者)                                          |
|------|--------------------------------------------------|
| 局長   | 令和4年度名古屋国道管内「道の駅」施設整理業務(国土交通省中部地方整備局)            |
| 局長   | 令和5年度九州中央道事業監理業務(国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所)          |
| 支社長  | 秋田自動車道相野々橋基本詳細設計(東日本高速道路(株)東北支社)                 |
| 支社長  | 秋田自動車道横手地区付加車線道路詳細設計(東日本高速道路(株)東北支社)             |
| 支社長  | 東京外環自動車道八潮地区連絡等施設詳細設計業務(東日本高速道路(株)関東支社)          |
| 理事長  | 令和5年度名古屋高速道路お客様満足度調査業務(名古屋高速道路公社)                |
| 事務所長 | R5大宮国道館内構造物点検・補修等設計業務(国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所)       |
| 事務所長 | 令和5年度道路構造物管理技術資料作成業務(国土交通省中部地方整備局中部道路メンテナンスセンター) |
| 局長   | 雪害対応 感謝状(国土交通省中国地方整備局)                           |

出向し、社外交流の活発化と技術力向上を目指しています。

### ～ 若い世代に土木の魅力を発信 ～

2024年8月「おやこ参観日」を開催しました。社員の子どもたちを会社に招き、道路や橋に関するクイズなどで土木の魅力を伝えるとともに、親子や社員間のコミュニケーションを深める機会となりました。

## 福利厚生

### ～ “コンディショニング休暇”の新設 ～

社員のアイデア募集から、“コンディショニング休暇”を新設しました。自分自身のメンタルケアのためだけの時間を取得できる制度で、自身のみならず周りの人を大切にする“思いやりの心”に気づく事を促します。

### ～ 社員旅行 ～

2024年9月、全国から熱海に集合し、初めての試みとして“社内運動会”を開催しました。日頃接点のない他部署の社員ともコミュニケーションを図り、楽しい時間を共有しました。

### ～ クラブ活動 ～

野球部・テニス部・フットサル部・マラソン部が活動しています。総数50名程度の社員が、定期的な練習と大会への参加により、風通しの良い会社づくり、心身のリフレッシュ効果などが期待されます。

(文：総務部長 中津原 勢司)